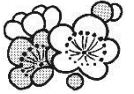


平成29年度 ながふじ学府合同学校保健委員会報告



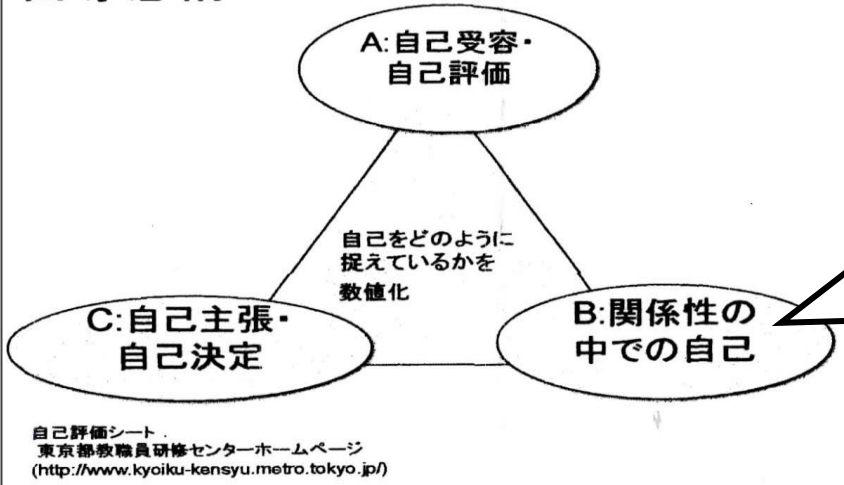
ながふじ学府学校保健委員会

- 日時:平成29年9月22日(金)
午後3時~4時30分
- 会場:豊田東交流センター
- 参加者:(各学校PTA、学校職員) 81名
豊田中学校 22名
豊田北部小学校 27名
豊田東小学校 31名
その他 1名

ながふじ学府学校保健委員会(26年度までは豊田中学校区学校保健委員会)も、13回目となりました。今回は、元藤枝市社会教育委員の山田智子さんを講師に招き、「生きる力をつける家庭教育」というテーマで講話をしていただきました。講話を通して、親子関係をよくするためのヒントをたくさんいただくことができました。講話内容をまとめましたので、ぜひ御覧ください。

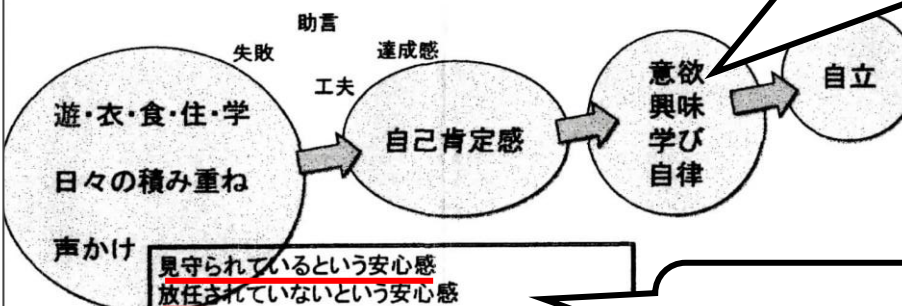
山田智子さん講話 ~生きる力をつける家庭教育~

自尊感情の3つの観点



集団の中での自分を、どのように意識しているかが分かる。高ければ高いほど、周りに流されやすい。

子どもたちの“今から未来”
どう寄り添ったら良いのでしょうか？



見守られているという安心感
放任されていないという安心感

家族、集団の中での経験、人との関わりの中で
社会性の基礎(自己有用感)が育まれる。

自律：自律心が高すぎるのも、何でも手に入る、自分の思い通りになると勘違いしてしまう原因にもなる。

二つの安心感が持てるように、親子でいつでも話が出来る関係性を。

「〇〇の壁」 (小1の壁・中1の壁など)

- ・乗り越えるのが大変そう。怖そう、不安、萎縮してしまう。
→子供の性質や気質、得意・不得意を客観的に分析し、子供と一緒にどう向き合っていくか考えていく。

「生きる力・社会性を身につけさせる」

「人と違うことが不安」

- ・同性、異性との友人関係が深くなり、親よりも友人に相談することが多くなる。
- ・多感な時期であり、相手と比較して自己嫌悪になりやすい。
- ・体の変化など、目に見えるものに不安がある(胸の発達、体毛、初経の年齢など)

「居心地の良いリビング作りをして、親子で話し合える空間を作る」

☆家族の約束事を共有しましょう！

各家庭で、携帯・スマホ・ゲーム・動画の利用時間を話し合っていますか？

親子だけでなく、祖父母や近親の人も含めて、一緒に考えると良い。

参加者アンケートより

○内容について

- ・「居心地の良いリビングにしてください。」の言葉が大変印象的で、これからの子供との関係作りの参考にさせていただきます。(複数)
- ・居心地の良い家庭の大切さ、寄り添うことの大切さ、その上で自立していけるように支えていくことの大切さを思いました。
- ・子供が困ったときにサインが出せる家庭なら、子供も本当に助けてほしい時に言い出せると思いました。
- ・自尊感情、自己肯定と、参加前は難しく感じましたが、親の立場から見守りよりそう姿勢を学びました。
- ・中三の娘が、目的・夢もなく受験勉強に取り組んでいます。将来の話になると、「仕事ってよくわからない。」と返答してきます。私が家で仕事の愚痴を言ったりするのが原因の一つかなと感じました。仕事のやりがいなどを話してみてもいいかなと思いました。
- ・とてもわかりやすいお話でした。私も小4と中2の母親ですが、子供の目線でまずは受け止め、一緒に考えていきたいなと思いました。ありがとうございました。
- ・実体験を交えたお話で、とても分かりやすかったです。自尊感情の定義に理解不足でした。楽しいことよりネガティブな内容をよく覚えているという一言が心に残りました。
- ・子供の気持ちに寄り添うことができる母親になりたいと思います。(複数)

○開催日時について・・・「よい」(86%)、「改善を要する」(14%)

- ・「改善を要する」と書かれた方からは、「参観会と同じ日にしてほしい。子供が学校にいる時間にしてほしい。」という意見が複数寄せられました。

○開催会場について・・・「よい」94%、「改善を要する」6%

○内容について・・・「よい」100%、「改善を要する」0%

※アンケート結果は、来年度の運営の参考にさせていただきます。ありがとうございました。